

職業訓練法人により若年技術者の育成に貢献

長岡電気工事協同組合

一業種では全国初の専門職業訓練校として開校以来、第二種電気工事士を110名以上送り出し、若年技術者の育成と新潟県の電気工事業界の発展に大きく貢献している。

- 所在地：〒940-0051 長岡市西神田町2番4号 ●電話番号：0258-39-2727
- FAX番号：0258-37-1314 ●設立：昭和50年3月 ●出資金：125,403千円
- 組合員数：120人 ●組織形態：同業種同志型組合
- 主な業種：電気工事業
- 組合専従者：6人 ●専従理事：1人 ●地区：長岡市、見附市
- URL：—

背景と目的

当組合の前身である新潟県電気工事工業組合長岡支部は、昭和42年頃より第一種・第二種電気工事士の国家資格取得を目的とした講習会を独自で実施してきたが、その評価は年を追うごとに高まっていった。そのため、昭和51年に当時の組合幹部が、業界を挙げて従業員の生活の安定と地位の向上を図り、また、国家資格取得者や高度な技術者を養成するために職業訓練校の設置を検討し、翌年の昭和52年4月に新潟県知事の認可を得て、「長岡電気工事専修職業訓練校」を設立した。

また、平成6年4月には「第二種電気工事士養成訓練施設」として、地方の一業種としては全国で初めて通商産業大臣（現経済産業大臣）より指定を受けた。

事業・活動の内容

昭和52年、専修職業訓練校として開校して以来、本年4月に34年目を迎え、第二種電気工事士を110名以上送り出したほか、長期・短期訓練コース修了者が2000名を超えるなど、組合員の技術力向上と各種資格取得に多大な実績を残すとともに、新潟県の電気工事業界の発展に大きく貢献した。

職業訓練校の運営は、組合事業とは分離独立しているが、組合が実施する教育情報事業と密接な関係を保ち、受講者募集や運営体制の整備において側面から支援を受けている。さらに、養成訓練を維持、拡大するため、今後はパソコン基本コースやシーケンス制御コースなどの短期訓練を重視する方向にシフトするとともに、他業界の一般受講者も募集することによって経営の安定を図ることとしている。

成 果

国家資格である第二種電気工事士の合格率は、全国の平均合格率 40%に対して、常に 80%以上を達成している。そのため、資格取得が社員の自信につながるとともに、電力会社の組合員に対する信用度も高まった。また、社員の採用活動においても国家資格が取得できる点をアピールできたため、有利に展開できたことなど組合員の経営に大きく貢献している。

成功要因としては、①一業種では全国で初めて養成訓練施設として認可を受けたこと、②講師のレベルが高く受講者の評判が高かったこと、③長期コースの受講者不足を短期コースを充実させることにより補った結果、運営資金を捻出できたことが考えられる。